

◆令和2年度農林業振興施策

1. 予算と重要施策

【予算】

(単位:千円)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	差引増減額 (A-B)	対前年比 (A/B)
農林業予算計	3,790,233	3,606,629	183,604	105.1%
うち農林業重要施策	2,569,396	2,482,038	87,358	103.5%
農林業総合計画	21,116	806	20,310	2619.9%
農 業	2,084,267	2,072,524	11,743	100.6%
林 業	464,013	408,708	55,305	113.5%

【重要施策】

令和2年度予算

(令和元年度)

福岡市農林業総合計画の推進

21,116千円

(806 千円)

1 農林業総合計画推進事業

21,116 千円

農 業

2,084,267千円 (2,072,524千円)

2 攻めの都市型農業の推進

771,642 千円

3 農地と良好な農村環境の保全

938,051 千円

4 都市住民と農の共生

374,574 千円

林 業

464,013千円 (408,708千円)

5 森林の有する多面的機能の発揮

310,409 千円

6 都市型林業の創造

153,604 千円

2 重要施策における主な取り組み

1 福岡市農林業・水産業総合計画の推進

23,491 千円

農林業・水産業総合計画に基づく施策を推進するとともに、令和4年度からの次期計画の策定に向け、農家・漁家の実態調査、将来の森づくりのあり方検討、農林業・水産業振興審議会での審議を実施する。

① 農林業総合計画推進事業（※森林環境譲与税活用）【21,116千円】＜政策企画課・森林・林政課＞

農業 農家の所得・意識調査、事業者ヒアリングの実施等
林業 森林の現状把握や課題整理、将来の森づくりのあり方検討等

② 水産業総合計画推進事業

【2,375千円】

＜水産振興課＞

漁家の所得・意識調査、事業者ヒアリングの実施等

2 攻めの都市型農業の推進

771,642 千円

(1) 農業経営の安定・生産性の向上 694,008千円

効率的な農業経営促進のためのハウス施設整備等の助成、農地中間管理機構の活用やドローンによる農地調査を実施し、農地の有効利用を推進するとともに、産地の課題解決に向けAI・IoT等を活用した実証実験を支援する。

① 園芸産地の育成

【123,026千円】

＜農業振興課＞

○ 園芸産地育成事業

【102,026千円】

野菜・花きを主軸とした農業経営の収益性向上と農産物の市民への安定供給を目的に、県の補助も活用してハウス等の園芸施設整備や省エネ機器等の導入を促進する。

○ 園芸産地育成事業（地球温暖化対策）

【21,000千円】

園芸施設における温室効果ガス排出削減を図ることを目的とした、省エネ型設備（ヒートポンプ）や生分解性マルチフィルムの導入を促進する。

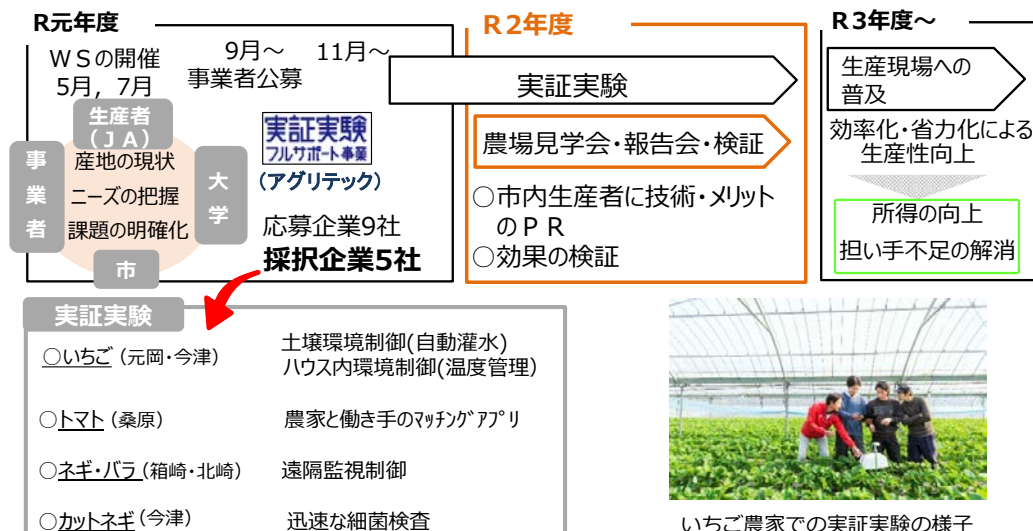
New

② スマート農業推進事業

【250千円】

＜政策企画課＞

生産現場への普及に向け、実証実験を継続支援し、農場見学会・報告会等を実施する。



③ 農林業金融資金

【542,000千円】

＜政策企画課＞

農林業者の経営の安定・向上と農産物の市民への安定供給を図るため、必要な資金を低利で融資する。

(2) 魅力ある農産物と新たな価値の創造 5,471千円

6次産業化・ブランド化を推進するため、市内産農畜産物の6次産業化やブランド化に取り組む農業者等を支援するほか、新たな市場として期待されるアジアをはじめとした海外への輸出の拡大に向けたプロモーション活動を推進する。

① 市内産農畜産物6次産業化・ブランド化推進事業【4,007千円】 <農業振興課>

市内産農畜産物の6次産業化・ブランド化による商品開発や販路拡大への支援を行い、付加価値向上及び農山漁村地域の活性化を図る。

6次産業化

○商品開発支援 ○販売促進支援



協山ゼラート



志賀島
わかめの佃煮



北崎「箱花」

ブランド化

○協山米，西洋野菜のブランド化



○PR及び販路拡大支援



展示会等でのPR及び
レストラン等への販路拡大



JALファーストクラス機内食
で提供（協山米）

② 福岡産花き海外プロモーション事業 【1,464千円】 <農業振興課>

市内産花きの販路拡大，ブランド化の方策として安定的・継続的な輸出促進に向け，令和元年度に実施したアンケート調査結果を踏まえ，引き続き台湾でのプロモーション活動を行う。



台北花市場でのプロモーション



市内産花きを使ったデモンストレーション



(3) 多様な担い手の確保・育成 72,163千円

新たな担い手の確保・育成のため、多様な人材に向けて農業情報や農業体験の場の提供に努めるとともに、就農希望者に対する農業経営相談や、早期に経営が安定するための支援を行う。また、新たに農福連携に取り組むなど、幅広い担い手を育成し地域農業の活性化を図る。

① 農業女子チャレンジ応援事業

【888千円】

<政策企画課>

農業、6次産業に取り組みたい女性を対象に、「福岡市女性未来農業サポーター」等のもとで研修を受ける機会を提供し、女性農業者の掘り起こし及び育成を図る。

② 新たな担い手の確保・育成

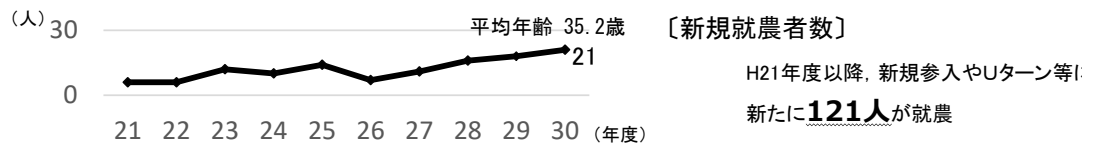
【68,268千円】

<政策企画課>

○ 就農応援事業

【3,295千円】

就農希望者を対象にした就農相談や研修を実施することにより、新たな担い手を確保・育成するとともに、農家の人手不足解消のための雇用促進事業を実施し、地域農業の活性化を図る。 ※「農の応援事業」「アグリチャレンジ事業」「担い手育成支援事業」を統合



拡充

○ 新規就農スタートアップ支援事業

【5,345千円】

新規就農者に対し、農業機械や施設等の初期投資にかかる経費を助成する。

補助率: 1/2 (※指定8校区 3/5)

※「帰農者活躍支援事業」と統合

○ 人・農地プラン推進事業

【59,628千円】

地域の話し合いによる「人・農地プラン」の見直しの推進及び国交付金を活用した新規就農者への支援を行う。

New

③ 農福連携推進事業

【2,290千円】

<政策企画課>

農業者と福祉事業者の意見交換会、先進地視察等を実施し、障がい者等の農業分野での就労を促進する。

R元年度

農業委員会・福祉事業所等との意見交換

R2年度

農業者と福祉事業者等との意見交換会

先進地視察

事業相談会・勉強会

R3年度～

事業所等による事業サポート

福祉事業所職員への農業指導（JAファーム）

農地情報提供（農業委員会）

農

福

農福マッチングによる

「福岡型農福連携」

のしくみ創出

3 農地と良好な農村環境の保全

938,051 千円

(1) 農地の保全

751,707千円

ため池や井堰，水路など農業用施設の整備や災害の防止を推進するとともに，関係水利組合との共働により除草や巡回点検，侵入防止対策などの適切な維持管理に努める。

① 農業用施設の改良 【614,890千円】 <農業施設課>

○ 防災・浸水対策，農業用施設整備 【410,496円】

ため池や井堰等農業用施設の老朽化等に伴う被害の未然防止，農業経営の安定のため，整備の緊急性の高い農業用施設の改良を行う。

ため池 24件，農道 6件，井堰 16件，水路 6件，井堰撤去 5件

New

○ 防災重点ため池対策事業 【179,033千円】

ため池の安全性向上のための調査や工事を行う。

ため池の洪水吐調査 82件 等

② 農業用施設の維持管理 【133,493千円】 <農業施設課>

老朽化した農業用施設の修繕や保守点検など保全を図るとともに，ため池の点検や親水ため池等の清掃等の維持管理を行う。

(2) 農村環境の保全

186,344千円

耕作放棄地を借り受け，農地再生に取り組む農業者への支援を行うなど，耕作放棄地対策に取り組むとともに，農地・農業用水路等の適切な保全・管理や農村環境の維持を図る。また，鳥獣被害対策については，被害の実態調査や対策の検討を行うほか，イノシシ被害の未然防止のため捕獲活動を行う。

① 耕作放棄地再生事業 【510千円】 <政策企画課>

耕作放棄地を借り受ける農業者等が行う農地再生等経費への助成を行い，耕作放棄地の活用を促進する。

拡充

② 鳥獣被害防止対策 【39,786千円】 <イノシシ等対策担当・農業振興課>

○ イノシシ被害対策事業 【34,776千円】

イノシシによる被害を未然に防止するため，ICT・IoTの活用等による捕獲活動や市民啓発などを行う。

○ 鳥獣害防止総合対策事業 【5,010千円】

農作物被害防止のため，福岡・糸島地域広域鳥獣被害防止計画に基づく捕獲活動経費の一部を助成する。また，鳥獣被害の実態調査，対策の検討及び被害の予防に関する広報・啓発などを行う。

③ 農業集落排水の管理・運営等（集排特会） 【82,004千円】 <漁港課>

農業集落における排水処理施設（勝馬，曲渕，小田・草場，宮浦，西浦）の維持補修を行うとともに，固定資産台帳整理等を行う。

4 都市住民と農の共生

374,574 千円

(1) 農への理解促進と消費拡大

12,723千円

「ふくおかさん家のうまかもん」事業者認定事業、親子食と農の体験教室、農林水産まつりなどの実施により、地産地消の推進に努める。

① 「ふくおかさん家のうまかもん」事業者認定事業 【7,940千円】 <農業振興課>

ふくおかさん家のうまかもん（＝市内産農林水産物及びその加工食品等）を提供または販売する事業者を認定し、専用ホームページでの紹介やPRグッズの交付などを行う。



「ふくおかさん家のうまかもん」ロゴ



PRグッズ活用例

② 農畜産物消費拡大推進事業 【977千円】 <農業振興課>

消費者と生産者との交流により相互理解を深め、市内産農畜産物の消費拡大と地産地消の推進を図る。



親子食と農の体験教室

③ 農林水産まつり 【2,860千円】 <総務課>

安全・安心な農林水産物を供給する生産者及び市場流通に携わる関係者と消費者の相互理解を深めるとともに、本市農林水産業等のPRを図るため「福岡市農林水産まつり」を開催する。



福岡市農林水産まつり

(2) 農との交流の促進

361,851千円

市民農園開設に向けた施設整備への助成を行うほか、市民リフレッシュ農園や油山牧場などのふれあい施設の管理運営により、農業体験を通じた交流の推進を図る。

① 市民農園拡大推進事業 【800千円】 <農業振興課>

身近に農業体験ができる場を市民に提供するため、市民農園開設に向けた施設整備への支援を行い、市民農園の開設を促進する。



市民農園

② ふれあい施設の管理・運営、施設整備 【361,051千円】 <農業振興課、森林・林政課>

花畑園芸公園や油山牧場などの農林業ふれあい施設の管理運営により、市民の農林業とのふれあいの場を提供するとともに、施設の魅力向上に取り組む。



油山牧場

5 森林の有する多面的機能の発揮

310,409 千円

(1) 森林の保全・再生

199,877千円

森林の有する多面的機能を発揮できるよう、長期間手入れがなされず機能が低下し、また今後低下の恐れがあるスギやヒノキの森林の間伐などを実施するとともに、森林整備の基盤となる林道等の保全整備及び森林経営管理制度の推進に着実に取り組むことにより、適切な管理による森林の保全・再生を推進する。

拡充

① 森林環境整備事業

【75,069千円】

<森林・林政課>

県の森林環境税を活用し、手入れがなされず今後荒廃する恐れがある森林について、間伐等の整備により環境を整え、公益的機能を長期的に発揮することができる森林へ誘導する。

拡充

② 林道保全事業（※森林環境譲与税活用）

【79,500千円】

<森林・林政課>

森林整備の基盤となる林道等の保全整備に取り組むため、林道等の路網において、防災対策として、施設補強や予防保全、点検・維持修繕などの機能強化を実施する。

③ 森林経営管理制度推進事業（※森林環境譲与税活用）

【9,840千円】

<森林・林政課>

森林経営管理法に基づく森林経営管理制度を円滑に推進するため、経営管理が行われていない森林を対象に意向調査を実施する。

(2) 市民とつながる森林づくり

110,532千円

地域住民など多様な主体による森林づくりを推進するとともに、森林に対する市民の理解促進に努める。

① 市民の森管理

【100,638千円】

<森林・林政課>

市民に身近な自然と緑のレクリエーションの場を提供するため、油山市民の森を運営する。

② 油山市民の森等リニューアル事業

【9,570千円】

<森林・林政課>

油山市民の森および油山牧場を、より魅力的で多くの人に親しまれる空間にリニューアルするため、最適事業手法の検討など、民間事業者の公募に向けた準備を進める。

<事業化スケジュール>

R元年度

民間事業者の
ヒアリング実施

R2年度

・事業手法の検討
・公募型民間サウンディング

リ
ニ
ュ
ー
ア
ル
ブ
ラ
ン
策
定

事
業
者
公
募

R4年度～

新
規
事
業
者
運
営
開
始
予
定

<導入機能のイメージ>

■環境資源の活用



夜景など油山のブランド化

■体験価値の創造



グランピングなど多様な宿泊

■農畜産業・林業の付加価値創出



乳製品などの6次産業化

(1) 森林資源活用に向けた基盤づくり 66,659千円

森林基幹道「早良線」の整備を進めるとともに、沿線の路網整備計画の策定や林道等の整備に取り組み、森林資源活用に向けた基盤づくりを推進する。

拡充

① 林道整備・改良事業（※森林環境譲与税活用）

【61,276千円】

<森林・林政課>

本市林業の拠点地域である脊振山系の中腹に森林基幹道「早良線」を整備し、森林・林業の振興を図り、森林の有する多面的機能の高度発揮、多目的利用を促進する。

(2) 持続可能な林業経営の確立 86,945千円

市有林の主伐に取り組むほか、林業資源ビジネス化プロジェクトによる林業の活性化や地域産材の利用促進など、持続可能な林業経営の確立に努める。

拡充

① 林業資源ビジネス化プロジェクト

【19,206千円】

<森林・林政課>

効率的な森林作業道等の整備による利用間伐を実施することで、木材生産の低コスト化による林業のビジネス化を推進する。

拡充

② 主伐推進事業

【16,096千円】

<森林・林政課>

市有林において、スギ・ヒノキ林の主伐及び花粉症対策や景観形成として広葉樹への植替えを実施する。

拡充

③ 地域産材利用促進事業（※森林環境譲与税活用）

【21,613千円】

<森林・林政課>

木質化や木材を活用した公共建築物の整備、研修会の開催など、木材利用の普及啓発を行い、地域産材の利用促進を図る。

※ 森林環境譲与税活用事業**● 森林の適切な管理**

森林所有者への意向調査などを実施

〔森林経営管理制度推進事業
市営林造林保育事業
農林業総合計画推進事業〕

● 森林資源活用のための基盤づくり

森林整備の基盤となる林道等の路網整備

〔林道整備・改良事業
林道保全事業〕

● 地域産材の利用促進

公共建築物の木質化を図り木材利用を促進

〔地域産材利用促進事業
鮮魚市場設備改良工事〕

効果

- 森林の有する多面的機能の発揮
- 花粉発生源の減少
- 森林資源の有効活用

